

## 川柳でホッとしよう！ 東北支部句集



それは1月に支部長から届いたハガキで始まりました。

前略 寒い日々が続いておりますが、お元気にお過ごしでしょうか。この度、昭和シェル社友会東北支部では、大勢の皆さんに参加していただける企画として川柳を募集します。これでしたら、遠くからでも、お忙しい中でも参加できます。クスツと笑える句が集まると良いですね。この企画が盛況ですと全国で実施されるやも知れませんが。皆様どうか奮って、応募下さい。併せて皆さまの近況もお知らせ下さい。どうぞよろしくお願いいたします。

草々

題材：『コロナ』または『丑年』

締め切り： 2月末日

申込み方法： ハガキ 又は、メールで

＊＊支部長のメールアドレス＊＊＊

★平穩は妻とコロナとディスタンス （常さん）

昨年春からコロナ感染予防のため三密を避ける自粛生活が続いている中で、何とか社友会とのつながりを維持するための苦心の企画ですが、何と40句近い川柳が集まりました。

支部幹事会も3月まで開催されない中で、作者を伏せた作品をメール等での支部幹事の推薦を集計した結果、以下の優秀作と佳作が選定されましたので、ご紹介いたします。

優秀作 ★ マスク顔 挨拶かわすも アラどなた

（作 坏 昭子）

- ★ 巣ごもりで 菓子摘まんで 腹つまむ (作 小野寺 陽子)
- ★ 巣ごもりで 枝の剪定 丸坊主 (作 伊藤 憲彦)

- 佳作
- ☆ 会釈する マスク姿の あなた誰? (作 勝見 英雄)
  - ☆ ステイホーム 数独パズルで ボケ防止 (作 瀬古 マチコ)
  - ☆ 自粛中 新たな発見 近所旅 (作 喜多見 知子)
  - ☆ 暗闇で くしゃみ一発 痴漢除け (作 勝見 英雄)

やはり参加者の方々の関心はコロナに集中する結果となりましたが、数少ない丑年にちなむ川柳を一句ご紹介します。

- ✪ 撫で牛を ながめるだけの ご利益は (作 伊藤 憲彦)

東日本大震災から10年を経て徐々に復興しつつあるこの時に、宮城県はコロナの感染が急拡大しております。医療機関の逼迫が懸念されるため、ついに蔓延防止重点措置が適用されることとなりました。そんな中で個人が出来ることは、これからもマスク、手洗い、三密を避ける生活を忍耐強く続けることとなりますが、その中でも「笑い」や「癒し」などを忘れない前向きな生活が大切だと思います。

せめて春爛漫のこの季節を、写真で楽しんでいただきたいと思います。桜満開の仙台の風景を添付します。

### 榴岡公園のさくら



## 西公園のさくら



今年は密を避けて、家族単位等でのお花見散策が印象的でした。こんな時でも、生命の営みは変わることなく、春の訪れの時を刻む桜の満開に心がいやされます。

コロナワクチン接種の案内状も届き始めました。一日も早い安全な日が戻る事を願いつつ不自由を常としても油断することなく過ごしたいものです。

(喜多見記)